

提出 順番	No. 6	令和 8 年 8 月 24 日 (午前)・午後 11 時 33 分受領
----------	----------	--

令和 8 年 8 月 24 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 酒井 はやみ



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
命守る避難所・防災体制を	本年 7 月に発生した熊本地震では、最大震度 7 の地震に加え、40 度近い猛暑の中、多数の避難所で空調設備の確保が課題となりました。温かい食事や段ボールベッドが迅速に行き届かない課題も指摘されています。 また、8 月の千葉豪雨では、これまで経験したことのないような豪雨により、各地で甚大な被害が発生しました。 これらの災害から、命を守る「避難」と合わせて、避難した後の生活環境をどう確保するか、また、想定を超える災害に行政と地域がどう対応するか、こうした課題について町民と認識を共有することが重要だと考えます。 本町の地域防災計画にも、スフィア基準を踏まえた避難生活の質の向上が位置付けられました。これを実効性のある取組につなげるとともに、町民と町職員が連携して避難所を開設・運営する体制や、想定を超える災害への備えを進める必要があると考え、以下の点を伺います。 - スフィア基準を踏まえた避難所環境の改善を進める観点から、発災後 48 時間以内にトイレ・キッチン（温かい食事）・ベッドを整える「TKB48」の考え方を避難所対策に位置付け、必要な資機材を実際に避難所へ搬送・設置し、利用できる状態にするまでの具体的な体制や目標を定める考えは。また、避難所となる学校体育館の空調整備を、国の補助制度を活用して進める考えは。 - 地域住民や自主防災組織、町職員が共同で行う実践的な避難所開設・運営訓練を実施する考えは。

	3 近年、想定を超える豪雨災害が各地で発生していることを踏まえ、ハザードマップの想定を超える災害も起こり得ることや、その際の避難行動について、町民と認識を共有する取組を進める考えは。 4 TKB48や避難所環境、体育館の空調整備について、北海道には資機材の広域的な確保・供給体制の充実を、国には財政支援の拡充を求める考えは。
--	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。